

日本発ドイツ便り～レープクーヘンを語る

突然ですが、ドイツのお菓子について語ってみたいになりました。

ちょっと季節外れですが、ドイツでは、だいたい9月に入るとお店には、ぼちぼちクリスマスのお菓子が並ぶようになります。一年中大人気なのは Schokolade(ショコラーデ:チョコレート)で、サンタさんの形をしたものなどなどです。そしてこの時期にしか見ないお菓子がたくさん並ぶのですが、その代表が Lebkuchen(レープクーヘン)と Stollen(シュトローレン)です。Lebkuchen はニュルンベルクの、そして Stollen はドレスデンの伝統的なお菓子です。なので、これ以外の街では基本的にクリスマスシーズンしか買うことができません。

Stollen はこの数年日本でもクリスマスのお菓子としてかなり一般的になりましたが、Lebkuchen は見ませんね・・・。

まず、Lebkuchen とは???

蜂蜜とスパイスの香りたっぷりのクッキーです。といっても作り方や中身が色々で、種類がたくさんあります。その中でも粉を使わず、ナッツたっぷりのものを Elisen Lebkuchen(エリーゼン・レープクーヘン)といって、これはけっこう高級になります。私がドイツにいたころ、Lebkuchen ってなんだろ?と、とりあえず、スーパーで買って見たものが5枚くらい入って1€位。安いので、期待はしていませんでしたが、でもそれでもビックリのおいしさでした。日本のお菓子の何とも似ていないのです。

内容が豊富で、まったく粉を使わない、Elisen になるともう500グラムで10€を超えるものもあります。内容はヘーゼツナッツやアーモンドやクルミといったナッツ類が40%近く、杏やイチジクといったドライフルーツやジャム、マジパン、オレンジやレモンピール、蜂蜜にシナモン、クローブ、コリアンダーやアニスの香り。内容が豊富になればなるほどしっとりと柔らかくなります。

見た目はそうですね、「丸ぼうろ」みたいな感じ。茶色くて丸いです。持ってみると、見掛けよりずっしり重くてビックリします。裏返すと「オブラート」が貼ってあります。(これは一緒に食べます)

齧ってみると、上に書いたような材料がぎっしりと、小さく砕かれて渾然一体となっています。噛みしめるたびに味がでてきて、一口ごとにはまって行って、1枚食べ終わる頃にはすっかりファン。ずーっと食べ続けたいくなるような、そんな不思議なお菓子です。(もちろん、シナモンの香りがどうしてもダメ!というような人には、無理かもしれません。)



ニュルンベルクの市場の Lebkuchen のお店。ゼーんぶ Lebkuchen です。



形も大きさも特に決まっていないようで、丸・四角・星型などなどいろいろです。また砂糖がかけられているもの、チョコレートがかけられているもの、プレーンとあります。昨年くらいから、BIO(有機栽培)の素材だけで作ったものなどが出てきています。

ニュルンベルクには Lebkuchenhaus(レープクーヘンハウス)というお店があって、大小様々なメーカーで作られた Lebkuchen が売られています。そのお店でのある日のほのぼのした光景。

- ・お客さんのおばあさん。「ここは春になったら、やっぱり Ostern Hase とか売るの??¹」
- ・お店のお姉さん「ううん、うちは春も夏も秋も、一年中いつでもずーっと Lebkuchen だけよ。」

ニュルンベルク市の消印には「世界的に有名な Lebkuchen の街」と書かれていました。ドレスデンの Stollen もそうですが、街をあげてこのお菓자에誇りをもっているんですね。

この Lebkuchen、じつはお料理のソースなどにも使うのです。(まだ機会がなくて試したことはないのですが)お菓子の Lebkuchen を砕いて使う? 甘いソース?? とびっくりしたのですが、そうではなくて、ソース用に砂糖などを入れない Soßenlebkuchen(ゾーセン・レーブクーヘン)というのがスーパーなどでも売られているのだそうです。今度行ったら見てみようと思います。



ニュルンベルクに行くと、つい、Lebkuchen の買出し? みたいな状態になってしまいます。上記の写真は、この1月に連れて帰った Lebkuchen 達です。ちょっと買いすぎですね。☺

でもそのくらい、一度はまってしまうと無性に食べたくなるお菓子です。Lebkuchen に限らず、ドイツのお菓子は、見た目は地味で素朴ですが、しみじみ美味しいものが多いような気がします。機会があれば(できれば現地で)是非、お試しください!

¹春のイースターの頃はウサギ(Ostern Hase:オスターン・ハーゼ=イースターのウサギちゃん)や卵の形のチョコレートがどこでも売られるのです。)ウサギと卵と黄色い水仙はイースターのシンボルです。ここで出てくる Ostern Hase=ウサギ型のチョコレートという意味です。